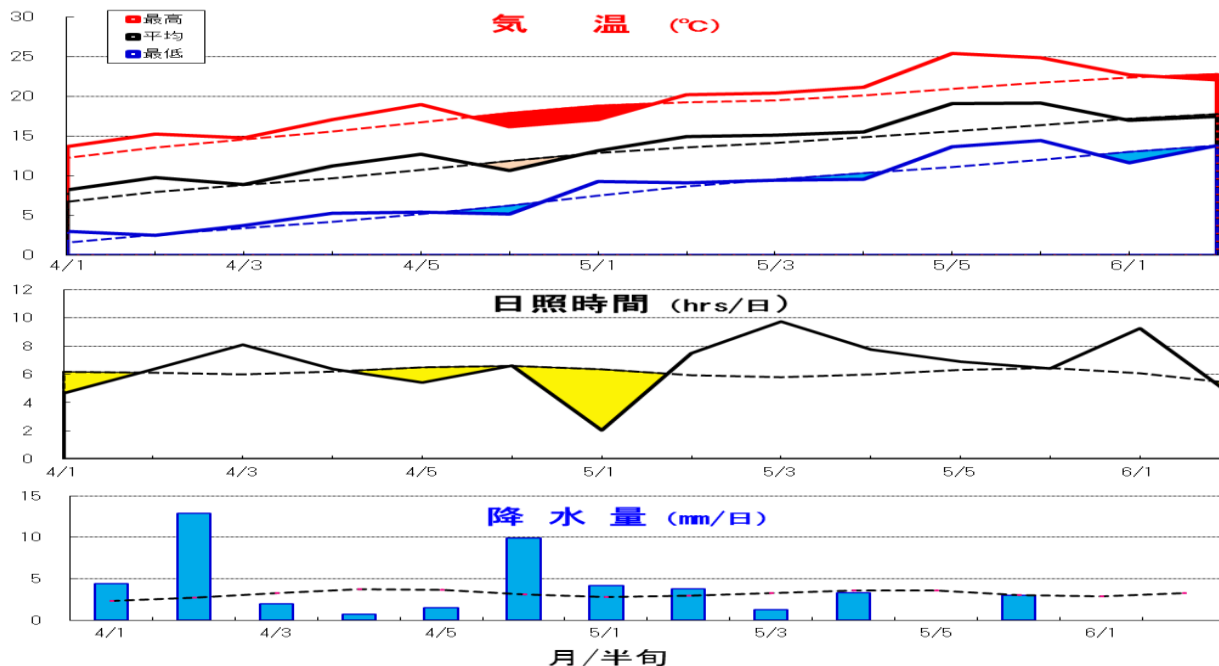


～田植以降の好天等で、生育は平年を4～5日早い！！～

1 気象経過



- ・ 5月の田植以降、高温傾向が続き、地域によって真夏日を記録するなど、5月の気温は平年を上回って推移し、6月初めは並みとなったが、その後高めに経過している。
- ・ 日照時間は、4月2半旬～3半旬に多照で5月1半旬までやや少照、それ以降は平年より多照となっている。
- ・ 降水量は、4月下旬がやや少雨であったが、その後は5月が平年並に経過し、下旬以降少雨傾向が続いている。
- ・ 前線活動が活発になり、西日本を中心に梅雨入りしているが、北日本は遅れる様相である。

2 田植の状況

- ・ 田植盛期は、5月11日で平年より一日遅く、終期も1日遅くなった。
- ・ 田植後の好天を反映し、苗質をみると良好で、育苗中の病害も少なかった。

表－1 地域別田植え進行状況

| 区 分 | 田植始期 (5%) | 田植盛期 (50%) | 田植終期 (95%) |
|-----|--------------|---------------|---------------|
| 本 年 | 5月3日 | 5月11日 | 5月21日 |
| 前 年 | 5月3日 | 5月10日 | 5月21日 |
| 平 年 | 5月4日 | 5月10日 | 5月20日 |
| 平年差 | 1日早い | 1日遅い | 1日遅い |

※ 平年値は平成18～27年の10ヶ年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8ヶ年の平均値。



3 生育状況

- ・ 6月1日現在の生育は、草丈で平年比120%、前年比109%と長くなっている。
- ・ 茎数は、平年比124%、前年比101%といずれも上回っている。
- ・ 主幹葉数は5.7枚で平年差+0.6枚前年差0.1枚となった。
- ・ 生育は、平年に比べて4～5日ほど進んでいると思われる。



表-2 品種別生育状況(6月1日現在, 県生育調査圃)

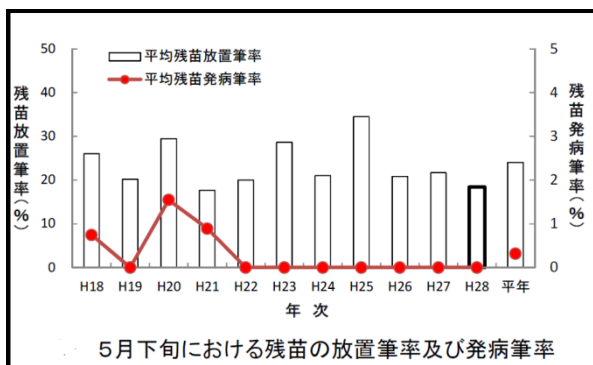
| a. 県全体 | | | | | | | | | |
|--------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 県全体 | 草丈 | | | 茎数 | | | 葉数 | | |
| | 本年 (cm) | 前年比 (%) | 平年比 (%) | 本年 (本/㎡) | 前年比 (%) | 平年比 (%) | 本年 (枚) | 前年差 (枚) | 平年差 (枚) |
| | 26.4 | 109 | 120 | 126 | 101 | 124 | 5.7 | 0.1 | 0.6 |

| c. 品種別 | | | | | | | | | |
|--------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 品種別 | 草丈 | | | 茎数 | | | 葉数 | | |
| | 本年 (cm) | 前年比 (%) | 平年比 (%) | 本年 (本/㎡) | 前年比 (%) | 平年比 (%) | 本年 (枚) | 前年差 (枚) | 平年差 (枚) |
| | ひとめぼれ | 27.0 | 111 | 123 | 126 | 100 | 123 | 5.8 | 0.2 |
| ササニシキ | 25.0 | 108 | 117 | 129 | 111 | 137 | 5.6 | 0.4 | 0.8 |
| まなむすめ | 25.3 | 102 | 100 | 120 | 87 | 101 | 5.0 | ▲0.4 | 0.5 |

4 今後の管理

(1) 補植用残苗の処分

- ・ 病害虫防除所の予察情報4号によると、残苗の放置率は低く、残苗での発生は未確認である。
- ・ 葉いもちの発生時期や発生量は「並」と予想されている。
- ・ アメダスによる感染好適日の推定によると準感染好適日が出現しており、注意が必要である。
- ・ 例年、補植用残苗が見受けられ、いもち病発生源となるので早急に処分する。



(2) 初期害虫の発生と防除のポイント

- ・ イネドロオイムシの発生時期は並で、発生量は平年よりやや少ないと予想されている。
- ・ 本田で発生が確認されても要防除水準を目安に薬剤の散布を判断する。(詳細は防除所等HP)

